**OAA名古屋支部５月例会報告**

**2023年 5月13日 (土)**

**小牧市　今枝 優**

**１　最近発見された彗星の軌道要素（前回からの続き）**



**○彗星一つ紹介**

**(1) P/2010 VH95 (Catalina) [459P/Catalina]**

ATLAS Chiliでのサーヴェイ観測によって、小惑星2010VH95に彗星活動が確認されたため、彗星として登録された。



Epoch 2023 Feb.25.0 TT

=JTD 2460000.5

T = 2023 Feb. 21.3813 TT

****e = 0.577541

q = 1.368162 au

**木**

****ω= 205.1767 °

**火**

**γ**

Ω= 257.0011 °

**昇**

i = 7.1720 °

**×**

 P= 5.83 年

　 r(Ω)=4.52 r(℧)=1.42 au

軌道図はアストロアーツホームページの 彗星軌道ビュワーで作成

360 observations from 2022

June 28 to 2023 Mar. 26

mean residual = 0.41″

計算には８惑星の摂動が含まれている

※ATLAS : Asteroid Terrestrial-impact Last Alert System

Catalina : アメリカ、アリゾナ大学スチュアート天文台カタリナ観測所



彗星は2020年２月20日前後に、木星に0.24天文単位まで接近した。

中野氏のホームページによると、1937年1月13日に木星に0.101auまで、また2008年8

月31日に0.9auまで接近している。

下は中野主一 氏のホームページ「Nakano Note」に発表されたP/2010 VH95　の軌道要素で、1997年から2023年の926個の観測から計算したもの。８惑星と小惑星ケレス、パラス、ベスタの摂動が加味されている。

Epoch 2023 Feb.25.0 TT =JTD 2460000.5

T = 2023 Feb. 21.37982 TT ω= 205.17729 °　(2000.0)

e = 0.5775343 Ω= 257.00052 °

q = 1.3681597 au i = 7.17207 °

 P = 5.828 年